

1

No.549
JAN.2017

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

01 年頭挨拶

会 長 鬼澤邦夫
 茨城県知事 橋本昌
 経団連会長 榊原定征
 副 会 長 小瀨裕正／高橋日出男／加子茂／
 木村真人／幡谷史朗／関正樹
 専 務 理 事 澤畑慎志

09 茨城産業会議・橋本昌知事を囲む懇談会開く 「29年度県政への提言・要望」を提出

11 委員会報告

政策／経営教育／労働企画／地域関係

13 支部だより

水戸／土浦・石岡・つくば／県西

15 『平成28年度会員増強運動』の状況

～お陰様で年度目標達成 会員数1,067社！！～

新入会員紹介

17 経営者・管理者のための挨拶・スピーチのポイント⑩＜葛田一雄＞ 「話材と聴き手の心を掴むための意識すべき事柄」

19 県内NPO情報Vol.195＜横田能洋＞ 「次の災害に備えるために」

70周年の節目にあたり



会長 鬼澤 邦夫

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

戦後の混乱期である昭和22年に「経営者の相互啓発と労使関係の健全な発展および産業経済の興隆」を目指して設立された当協会は、本年7月に創立70周年を迎えます。設立後は、従業員への教育研修の提供、地域社会と企業との連携、行政への政策提言、環境問題への啓蒙活動など、時代の変遷とともに活動領域を広げ、総合経済団体へと進化を遂げました。創立70周年を迎える本年も、設立時の理念を忘れることなく、変化し続ける時代に対応した活動を行って参る所存です。

昨年日本経済情勢を振り返りますと、後半は米国大統領選挙においてトランプ氏が当選したことを契機に、期待と不安が交錯し、株価が乱高下しました。トランプ新大統領がこれから行う経済政策が日本経済、そして世界経済の成長にプラスの影響を与えられることを期待してやみません。一方、県内経済は、日銀水戸事務所の金融経済概況によりますと、年間を通じて「緩やかに回復しつ

つある」との見方は変わっておりません。また、今後の見通しについても「緩やかな回復基調が続く」との見方を示しており、本年は、回復基調が中小企業も含め広く波及することを願っております。

そのような中で、茨城県の魅力を内外に印象づける「KENP OKU ART 2016茨城県芸術祭」が開催され、約77万人の方々が来場されました。県北地域の自然、文化、そしてそこに暮らす人々の素晴らしさを知って頂く絶好の機会となりました。本県の観光産業の成長と地域への波及効果に期待したいところです。

当協会としましては、『会員・地域から“頼りにされる”茨城経協へと進化する』を目標に掲げた「第7次中期運営要綱」(平成26年度～28年度)の最終年度として、①情報収集・情報発信の強化、②会員交流機会の拡充、③研修・セミナー事業のさらなる内容充実、④地域社会への貢献活動の強化、⑤政策提言力の向上を重点事項として活動を展開して参りました。特に、政府が成長戦略の要と位置付ける「女性の活躍推進」について、「女性活躍研究会」を立ち上げ、

女性がより活躍するために必要な取り組みについて議論を交わすなど、時流に即した活動を展開して参りました。4月から現在策定中の「第8次中期運営要綱」に則り、「会員の声に耳を傾け」更に充実した活動を行う所存です。

また、会員の皆様にご協力いただき実施しております会員増強運動につきましては、昨年1年間で新たに108社の企業様にご加入頂き、1,067社となり、当協会創立以来最も多い会員数となりました。誠にありがとうございました。これからも、会員相互の新たな出会い、新たな気づき、学びがこれまで以上に大きくなるよう、全ての活動の質を高めて参る所存です。

先人達が築かれた70年の歴史を大事にしながら、これからの時代に更に会員の皆様、地域の方々に貢献できる協会になるため、全力を尽くすことをお約束し、年頭のご挨拶といたします。

皆様方の一層のご健勝、ご発展をお祈りいたします。

(株)常陽銀行 取締役会長)

「人が輝く元気で住みよい いばらき」づくりに向けて



茨城県知事 橋本 昌

あけましておめでとうございます。
います。

一般社団法人茨城県経営者協会の皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

経営者協会におかれましては、日頃から労使関係の健全化や企業経営の安定化などに寄与されるとともに、本県の産業経済の興隆にご尽力いただき深く敬意を表します。

昨年は、地域経済の一部に弱さも見られ、厳しさが残る一年でありましたが、G7科学技術大臣会合や県北芸術祭が開催され、多くの方々にご来県いただきました。また、企業の立地でも引き続き全国トップレベルの実績をあげるなど、明るい話題もありました。

本年は、人口が減少する中であって、本県の活力を維持し、発展させていくための重要な年であります。

災害に強い県土づくりや行財政改革を進めながら、地方創生を加速させるとともに、生活や産業など様々な分野で新たな価値を創出する「イノベーション大県」を目指し、「人が輝く元気で住みよい いばらき」づくりを全力で進めてまいります。

とりわけ、人づくりは将来の

いばらきづくりの基本であります。このため、本県独自の少人数教育の推進や理数教育・国際理解教育の充実を図りますとともに、道徳・郷土教育の充実やいじめ対策などを通じて、未来を担う子どもたちを心身ともに健やかに育てまいります。また、就学前教育や自然体験・読書活動などにより、子どもたちの自主性・自立性を育みますほか、女性や若者が活躍しやすい環境づくりや文化の振興など、「人が輝くいばらき」づくりを進めてまいります。

また、2月には、圏央道の県内全区間が開通しますが、働く場の確保や交流人口の拡大のため、今後とも、広域交通ネットワークの整備や企業誘致を強力に進めてまいります。さらに、最先端科学技術の集積を活かした新産業・新技術の創出、海外展開を含めた中小企業の振興、つくば霞ヶ浦りんりんロードなどを活用した観光の振興、農業の6次産業化や農産物のブランド化・輸出の促進、東京圏からの人材の還流や若者の地元定着の推進、県北地域の振興など、「元氣ないばらき」づくりを進めてまいります。

さらに、本格的な少子高齢社会を迎え、福祉や医療の充実喫緊の課題となっております。

今後とも、出会いサポートセンターによる結婚支援をはじめ、出産・子育てまで切れ目のない支援を進めますとともに、医師確保や救急医療体制の整備など地域医療の充実を図ってまいります。また、高齢者の健康・生きがいづくりや障害者の自立支援、学習支援など子どもの貧困対策、さらには治安の確保や交通安全対策など、「住みよいいばらき」づくりを進めてまいります。

今年4月からは本県を舞台としたNHKの朝ドラ「ひよっこ」の放送が始まります。また、その後も本県では、世界湖沼会議や茨城国体・全国障害者スポーツ大会が開催されますほか、東京オリンピック・パラリンピックなども予定されております。本県の素晴らしさを国内外に強くアピールできるよう、準備を進めてまいりますので、経営者協会の皆様におかれましても、なお一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして新年のあいさつといたします。本年もよろしくお願いいたします。



GDP600兆円経済への 確固たる道筋をつける

一般社団法人 日本経済団体連合会
会長 榊原 定征

世界の政治経済情勢は、保護主義の台頭やナショナリズム志向の広がりが懸念される中、先行き不透明感を増している。このような時にあって、わが国は先頭に立ち、自由で開かれた国際経済秩序を維持・発展させ、世界経済の成長を牽引していかねばならない。同時に、政権基盤が安定している今だからこそ、社会保障制度改革や財政健全化、抜本的な規制改革など、国民の痛みを伴う改革に真正面から取り組むべきである。

経団連としても、政治との連携を一層強化しながら、デフレ脱却と経済再生を確実に実現し、GDP600兆円経済への確固たる道筋をつけるため、主体的に取り組む所存である。

第一に、政府が掲げた「日本再興戦略2016」の「官民戦略プロジェクト10」の実現に取り組む。成長戦略の柱であるSociety5.0の実現に向けて、目指すべき世界を描いた上で、具体策を提案していく。また、消費マインド喚起策の一環として「プレミアムフライデー」を実施し、働き方を見直しつつ消費を楽しむことを促していく。他のプロジェクトについても、早期具体化を図りたい。

第二に、地域経済の活性化に取り組む。各地で経済懇談会を開催し、自治体や地方経済団体による地方版総合戦略の遂行を後押しする。また、「地方創生に向けた経団連アクションプログラム」に基づき、地方経済団体との連携協定の推進、農業・観光の振興など、地域経済の成長力引上げに協力する。

第三に、経済外交を積極的に展開する。米国については、現地事務所を拠点に新政権や議会との関係を構築し、経済関係の強化を図る。その過程で、TPP協定の発効を目指して、経済的・戦略的意義を訴えていく。欧州については、日EUEPAの早期実現を働きかけると共に、英国のEU離脱に係る企業の懸念事項への理解を求めていく。アジア諸国とも、緊密で互恵的な関係を強化すべく、官民リーダーとの政策対話を進める。

第四に、東京オリンピック・パラリンピック等の開催成功に向けて、国民のムーブメント醸成および全国的なレガシー形成を支援する。

本年も、経団連ビジョン『「豊かで活力ある日本」の再生』の実現に全力を尽くす決意である。皆様のご支援をお願い申しあげる。



一日一日、日々 命がけで

副会長 小濱 裕正

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

毎年のことながら本年の諸情勢を鑑みるとこれまで以上に不確実性・不透明な年になるであろう。それゆえに、重要視したいことがある。第一に、明日が不確実、不透明なるがゆえに「一日一日、日々」と言う言葉である。ツルゲーネフの言葉に「明日は、明日こそはと、人は自ら慰める」。この「明日」は人を墓場に送り込むまで続きかねない。明日がどうなるかわからないのに、明日にかける愚を古代の賢者である親鸞が詠んだ短歌「明日ありと 思う心のあだ桜 夜半に嵐の 吹かぬものかわ」。

第二に、我々は未来を予測できないが、未来を創造するために創造的破壊ができる。不確実でカオス(混沌、無秩序)な時代に直面しても克服し成長し続けてきた企業があることも知っている。その胆は、ぶれること無き経営思想と環境に左右されない戦略にあり、それらに基づく柔軟な戦術が共有される組織力である。昨年日本一に輝いた日本ハムの栗山監督の言葉を借りれば「僕の仕事はスポーツではない。哲学と戦略を語りそれらを行動レベルに戦術として具体化し一日一日命がけで実践することだ」。9連覇した川上監督を思い出す。

わが社の基本思想「人間愛溢れる地域コミュニティの中核的役割を果たし、食生活における存在価値のある企業づくりと活力ある従業員の自己実現を支援する」

本年の戦略は「未来に思いを馳せ、勇気をもって未来に価値創造の投資を!」である。具体的には、①地域社会への投資として、低年齢層への健全な食生活指導・高齢者への食の提供サービス・地域生産者の開拓・地域環境保全活動など ②存在価値のある企業への投資として、革新的ICT・付加価値型新店開発及び既存店リニューアル③従業員自身による投資支援として、「地域社会へのボランティア活動促進支援」・「知力、体力、技能アップなどによる自己研鑽支援」・『いいね』活動推進基盤づくり』である。

これらを日々命がけで愚直に実行する決意である。

今年も日々、「朝に希望を・昼に努力を・夕べに感謝を」合言葉に共榮しようではありませんか。

(株)カスミ 代表取締役会長

中国と私



副会長 高橋日出男

新年あけましておめでとうございます。

建設機械の代表的な機種である油圧ショベルは世界需要の半分を中国が占める。昨年前半、4年に渡る不況に底打ち感が出てきた。8月頃から対前年同月比で増加に転じ、11月に入っても改善が続いている。今回の長い不況は2008年のリーマンショック後に60兆円の財政支出を実施し、世界経済を支えた中国が、そのリバウンドで需要の減少、過剰在庫、腐敗撲滅運動による工事の未着工等々が長い不況の要因と考えられる。特に地方政府の資金不足が影響したと云われている。昨年、新規国債の発行が、地方政府の仮需の借り換えで可能になり、工事再開の需要条件が整ってきたことが回復の要因としてあるようだ。しかし本格的な回復を予想するには4～5月頃の需要状況の様子を見て判断する必要がある。

1989年12月22日の夜、初めて上海の虹橋空港を降り立った。空港内には機関銃を持った人民解放軍の兵士がパトロールしていた。半年前に起きた天安門事件の影響で警戒しているとすぐに分かった。出口に向かって行くと、うす暗い中で目だけが光っている大勢の人達がこちらに視線を向け

ていた。異様な光景だった。知人二人の顔が見え、安堵したのを覚えている。上海で会社を作って、人を集め、日本語教育を行った後、協立製作所で技能実習を行い、上海に戻して部品を製造し、日本に輸出する。当時の人手不足の解消と海外進出の目的のため、自分の目で見、肌で感じて、実施の可能性をみたいと思った。

1971年創業者の父と会社の将来を話し合った。当時、東京品川の小さな町工場だった協立製作所は10人足らずの従業員で、1階が工場、2階が住まいで住込みの従業員も数人いた。私は地方に工場を作れば、自分が行くと話した。品川の工場は常に人手不足で、納期を間に合わせるため、両親は従業員が帰ってから仕事をしていた。これらを解消するため、地方の工場であれば、人手不足を解消できるのではないかと提案した。入社後いかに考えが甘かったかを思い知らされ、後に人手不足解消のために上海進出へと繋がって行くことになるとは、この時思いもよらなかった。

茨城工場に赴任した時は40坪の工場に4名で始まった。それから15年の間に3回の増築で工場は320坪に拡大し、社員は50名を超えていた。80年の

バブル時代、人手不足は恒常的に起こっていた。東京でスポーツ新聞に社員募集を出したところ、中国人1名が応募し入社した。この中国人から友達を紹介してもらい、茨城工場に2名の中国人が来るようになった。バブル期後半には中国人や他の外国人だけで30～40名在籍するようになり一時的に人手不足は解消した。同時に発生していたのが、工場スペースの不足だった。土地の用途変更があり、工場の増築は出来ず、深刻な問題へと発展していった。移転できる適当な場所が見つからなかったが、およそ3年で開発行為と建築確認の許可をもらうことが出来た。新工場は経営の決定から4年目で完成した。また同時に活動を開始していたのが、中国に進出し、人手不足解消と工場面積の拡大を行うことである。会社設立の活動を始めてから1年で認可を受け、貸工場の契約も行い準備ができた。中国の会社には最初に茨城にきた中国人2名が設立に参加した。しかしその後さまざまな困難が待ち受けていた。

続きは次の機会でご報告したい。

(株)協立製作所 代表取締役

茨経協の活動を振り返って



副会長 加子 茂

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと思います。お陰様で今年の当協会の活動も滞りなく当初計画通り遂行することができました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。つきましては、ここで今年の当協会の活動の中から私が特に感銘を受けた事例を二つほどご紹介し、新年のご挨拶とさせていただきます。

一つ目は、茨城・栃木・群馬3県経営者協会交流会であります。昨年は栃木が当番ということで10/28(金)日光金谷ホテルにて開催されました。茨城県48位、栃木県47位、群馬県46位と、魅力度ランキングワースト3が集まって傷を舐め合っても・・・との自虐的なご意見も一部ありましたが、私としては、魅力度アップのための他県の取り組みを聞かせて頂く大変いい機会となりました。特に、栃木県産業労働観光部長のご講演で紹介のあった、県内総生産に占める第2次産業構成比が栃木県は全国第4位であることや、人口の1/4

は宇都宮市に住んでおり、総面積の1/4は日光市であること等から、県の施策も自ずと茨城とは異なった視点で考えておられることがわかり興味深く講演を拝聴しました。又、席上、インバウンドは、日光へはみんな東京から日帰りであるので地元にお金が落ちない、そもそも富岡製糸場が群馬県にあることを知っている人は驚くほど少ない等、世界遺産があっても悩みは尽きないという実態も披露され有意義な交流会ができたものと思います。

二つ目は、大学への寄付講座の講師として茨城大学で講演をさせて頂いた際、学生の講演に対する感想文を拝見する機会を得たことあります。全般的には、学生のみなさんが非常に真面目に前向きに捉えて頂いたことを嬉しく思いました。又、多くの学生が私の話の中から会社を考える際のキーワードとして、「社会貢献」と「変化への対応」を挙げていたのが印象的でした。特に、「社会貢献」については、この寄附講座で講師をされている当協会の多くの経営者が異口同音に口にするので、会社の存在意

義として正にこれが本質なのだろうと思ったとの感想を述べている学生も複数いましたので、当協会の取り組みも十分成果を挙げているとの確信が持てた次第です。昨年は有効求人倍率が上昇した影響からなのか地元の大学から当社にエントリーしてくる学生は減少しましたが、我々としては、今後とも地元の優秀な学生を地元へ繋ぎとめる努力をしていく必要があることを再認識した次第です。

以上今年の当協会の活動について、二つほど述べさせて頂きましたが、今年も昨年同様会員各位に資する活動を進めて参りたいと思っています。会員各位におかれましては、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

(株)日立ライフ 取締役社長)



年頭のご挨拶

副会長 木村 真人

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、英国の国民投票によるEU離脱、米国の大統領選挙など格差是正や移民問題を背景にした話題が多く、私たち鉄鋼業界においても中国の過剰能力問題や原油価格の低迷など、まさにグローバル化による課題が噴出した年でした。しかし昨年の年初には、アベノミクスが1stステージを向え、それまでの6重苦を解消すべく需要を創出し、円高の是正、株価上昇と、少しずつ回復の兆しが見え、いよいよ2ndステージという中で、こうしたグローバル化の歪みが生じはじめました。まさに世界の変動に各国が振り回される時代になってきています。このように変動の激しい時代に私達はどのように対処していけばよいのでしょうか？人口の減少、国内需要の低迷、人手不足の加速、円高による国際競争力の低下。次々に出てくる課題には突破口が見えません。有識者からはIoT、big-data、AIなど新たな有望市場の創出による資本蓄積と規制緩和により、生産性を向上させるといった提案もありますが、既存産業における日本のものづくりの力は本当にもう世界で通用しないのでしょうか？日本の強み、日本の産業の強みは何処にあるのか、という問題に正面から向き合わなければならない時期にきています。

日本の伝統的な産業技術は、きめ細かく丁寧な「ものづくり」にあります。後継者問題や技能伝承など人財不足に悩んでいるのが実態です。しかしながらIoTやAIなどの技術は、豊富な経験と知識を補い、緻密で繊細な日本の伝統的な技術を継承する大きな力になる可能性を持っています。新しい技術と伝統的な熟練の技術を融合し、日本のものづくりの力を再構築していく大きなチャンスと捉え、日本にしか出来ない、日本だからこそ出来る技術を愚直に追求していきたい。

(新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長)



「変えてはならない事」、 「変えなくてはならない事」

副会長 幡谷 史朗



7

昨年の8月、高校野球を夏の大会で引退した長男と二人で、ドイツへレンタカーを使用した自動車旅行をして参りました。主たる目的は、二つありました。1つは自動車発祥の地であるドイツにおいて、BENZ・PORSCHE・AUDI等の主要メーカーが自社で運営する博物館を見学する事、そして2つ目は、ドイツ北西部に位置し、毎年24時間耐久レースが開催されるニュルブルクリンク(サーキット)を訪問する事でした。

慣れない個人旅行は、異文化との交流そのものでした。フランクフルト空港で予約したレンタカーの保管場所までは、何とか辿りつく事が出来ました。次に、地下駐車場の薄暗い中で、ナビに宿泊先ホテルを設定しようとして取り組みました。同じ様な住所が沢山あり、狭い社内が悪戦苦闘の連続でした。そうこうしている内に、汗だくになり室温が上昇した為、エンジンを始動させエアコンをONにしました。一心不乱にナビと格闘していると、一人の女性が私のクルマの窓ガラスを叩きました。驚いてあわてて開けますと、「エンジンを止めなさい。」と言われました。つまり、無駄なアイドリングは環

境を悪化させるとの事でした。事前に聞いてはおりましたが、ここまで徹底されている現実に直面し、社会の隅々までその考え方が浸透している事に、感銘を覚えました。

滞在中は毎日、有名な速度無制限の高速道路(アウトバーン)を左ハンドル右側通行で走りました。実際は、全てが無制限では無く、道路事情(起伏・カーブ)により、細かく速度規制が存在しました。現地のドライバーは、180キロ、150キロ、120キロ、100キロと、その都度、忠実にその規制を順守しておりました。また、クルマのスピードメーターの隣には、現在走行中の道路の制限速度がリアルタイムで表示され、道路の速度標識が変わる度に、メーターパネルの数字が瞬時に連動する事を体験して参りました。道路にある種のセンサーが埋め込まれていると推測されます。特に、郊外から市街地への入り口や下り坂のトンネル等、ヒューマンエラーが発生し易いポイントには、速度違反取締り用のカメラが設置されておりました。日本とは逆で、前からではなく後ろから撮影するタイプであり、運転者を特定する為の時間とその労力をかけ

るのであれば、クルマの所有者に直接罰金を科すと言う、合理的なシステムでした。

取締りの徹底もあるかと思いますが、安全や環境に配慮する国民全体での意識の高さ、いわゆる、国としての社会の成熟度、民度の高さを痛感致しました。

グローバルスタンダードが浸透しつつある現代社会に生きる者として、極東の島国である日本国として「変えてはならない事」、そして「変えなくてはならない事」、この様な国の方向性を改めて考える良い機会となりました。改めて、現地現物で体験する事の意義とその難しさを再認識して参りました。

今年は、この経験を活かして広い視野で、「企業の常識」が「社会の非常識」となっていないかの、総点検に取り組んで参りたいと存じます。

今年一年間、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

(茨城トヨタ自動車(株))
代表取締役社長)



多様性を持つ地域（茨城） を目指して

副会長 関 正樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年、弊社は7月にベトナムにハノイ駐在員事務所を設置し、11月にはグループ会社のセキショウキャリアプラスがベトナムのハノイ工科大学において日本企業に就職を希望する学生向けの企業説明会と就職面接会「SEKISHO JOB FAIR」をベトナム企業と共催しました。海外での初の試みでしたが、各方面より多大なるご支援を賜り、2日間で実に約700名の学生が会場を訪れる結果となりました。また、出展して頂いた20社の日本企業・日系企業も内定者やインターンシップ実施予定者の確保ができ、大盛況の内に終了いたしました。企業から熱心に話を聞き、面接に臨んでいるベトナム人学生の力強い姿を目の当たりにし、茨城県が関係を深めているベトナムの成長性を強く感じました。

また、このJOB FAIRの準備を進める中で県内には既にベトナムに進出している企業や興味を持つ企業が多く存在することを知りました。県も「いばらきグローバル化推進計画」を策定した様に、少子高齢化、人口減少問題も相まって地域のグローバル化は確実に進んでいきます。今後、海外の優秀な人材を茨城県に呼び寄せるためには、国籍や習慣に起因する互いの価値観の違いを尊重できる「多様性を持つ社会」を築くと共に行政、産業、教育など、あらゆる分野が協力して魅力度を上げて行く必要があります。経営者協会の持つ業種を超えたネットワークはこの点で大きく貢献できると考えています。

今年は、石油元売のJXホールディングスと東燃ゼネラルが経営統合を決め、出光興産と昭和シェルが合併交渉を行っている様に弊社の基幹事業であるエネルギー分野で大きな環境変化があり更なる競争が起こると考えています。今まで以上に国内外の変化を注視し、それを的確に捉え「新たな価値」を創り出せる様に取り組んで参ります。

（関彰商事（株）代表取締役社長）



原点を見つめながら 新たな一步を

専務理事 澤畑 慎志

新年おめでとうございます。

平成26年にスタートした協会の3ヵ年計画・第7次中期運営要綱も残すところ3ヶ月。この3年間、「会員・地域から頼りにされる茨城経協へと進化する」と掲げて五つの重点事業に取り組んで参りました。

4月からの次期計画を策定する過程で昨年9月から事務局役職員全員で会員訪問を実施しております。多くの会員の声を計画に反映したい、めまぐるしく変化する経営環境の中で、会員の声をすばやく的確に事業に結び付けようとの思いからです。

会員訪問の中で、「昭和40年代に労働組合問題で、あるいは昭和50年代に公害問題で、あるいは親父が生きている頃、経協の方々に大変お世話になったのですよ」と思いもよらず、そんな声をいくつも耳にしました。

当時、協会の専務理事を務められていた堀川克治氏は、中労委時報に以下のような文章を遺されています。「（ある）経営者が『理論だけでは労使関係はうまくいかないね』となげいていた。たしかに理屈や議論は、どこまで行っても果てしなく、特に立場でしか物を言えない人の場合はきりが無い。説得させるとか、納得するというのは理屈でなく人と人との問題に帰するのではあるまいか」と理屈や立場を越えて問題にあたっていくことが肝要であると。

そして、いよいよ今年7月に、当協会は創立70周年を迎えます。県内の経済復興と労使関係の安定を目指して設立した原点を見つめ先達の言葉を噛みしめながら新たな一步を踏み出すときであります。

とまれ、事務局役職員一同、会員と地域のために精一杯努力して参る所存です。

会員、関係機関の皆様には、本年も宜しくご指導ご協力をお願い申し上げます。

橋本昌知事を囲む懇談会開く

「平成29年度県政への提言・要望」を提出



茨城産業会議（鬼澤邦夫議長）は、12月13日（火）、水戸プラザホテルで第2回拡大総会を開催し、構成団体からの要望事項を取り纏めた「平成29年度県政要望」（案）を原案通り承認した。

その後、「知事を囲む懇談会」が開かれ、鬼澤議長より橋本昌知事に「県政要望」が手渡された。

同懇談会には、茨城県から、橋本昌知事、渡邊政美理事兼政策審議監、今瀬肇企画部長、今関裕夫生活環境部長、鈴木克典商工労働観光部長、川崎裕一参事兼産業政策課長が出席した。

はじめに、鬼澤議長が「本県の工場立地件数・面積そして農業産出額、製造品出荷額が全国上位を占めるなど、バランスが良い発展を遂げていることは大変喜ばしく、こうした本県のポテンシャルを活かしたビジネス展開を図っていきたい。本県も例外なく人口減少・少子高齢化に向かう中で策定された『茨城県人口ビジョン』および『茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略』の実現に各界が協力し、いかに地域活性化に繋がられるかが今後の大きな課題と考えている。知事はじめ県幹部の皆様には引き続きご指導の程、宜しくお願ひしたい」と挨拶。

続いて、橋本知事が挨拶に立ち、「鬼澤議長はじめ産業会議

の皆様には日頃より本県経済の発展にご尽力いただき、あらためて御礼申し上げます。地方創生に関しては、人口減少が進む中、特に県外に進学した学生を就職に際してどうやって県内に呼び込み、安心して生活できる環境を整備できるかが重要と捉えて

いる。そして、東京の一極集中を是正するためには、地方に仕事を創る、交流人口を増やす、そして若者が結婚、子育てに安心して取り組める社会を築かなくてはならないと考えている。本県では女性の県外流出が著しいことから、特に女性を中心とした雇用の増加に取り組んでいただきたい。また、交流人口拡大については、県北芸術祭の波及効果、つくばりんりんロードの開通を機に、一層の増加に繋げていきたい。本県

は地域資源に恵まれた県であり、それらを十分に活用することで、本県の強みを活かした地域の発展を遂げることができると考えている。様々な課題の克服に向け、引き続き産業会議の皆様には県行政に対するご指導ご支援を賜りたい。皆様の更なるご活躍を祈念したい」と挨拶した。

続いて、県商工会議所連合会の久保会長、県商工会連合会の外山会長、県中小企業団体中央会の渡邊会長より分野ごとの重点要望が述べられた。その後、茨城県側から「地方創生の推進について」「交通基盤の整備と地域の活性化のための観光促進に向けて」「防災意識・減災意識醸成への取り組み強化について」「要望に関する商工労働観光部の取り組みについて」の説明がなされた。その後、質疑応答・意見交換に移り、活発な討議が行われた。

<知事を囲む懇談会出席者>

敬称略

当協会会長（茨城産業会議議長）	鬼澤 邦夫
茨城県商工会議所連合会会長	大久保博之
茨城県商工会連合会会長	外山 崇行
茨城県中小企業団体中央会会長	渡邊 武
（一財）常陽地域研究センター理事長	増山 弘
当協会副会長	高橋日出男
茨城県商工会議所連合会副会長	中川喜久治
茨城県商工会議所連合会副会長	秋山 光伯
茨城県商工会連合会副会長	野村 武勝
茨城県商工会連合会副会長	小川 一成
茨城県中小企業団体中央会副会長	阿部 真也
筑波大学名誉教授	佐藤 守弘
当協会専務理事	澤畑 慎志
茨城県商工会議所連合会専務理事	石川 和宏
茨城県商工会連合会専務理事	畑岡 宏茂
茨城県中小企業団体中央会専務理事	岩間 伸博
（一財）常陽地域研究センター理事兼事務局長	大和田 基
（一社）茨城県産業会館専務理事	植田 信行

＜平成29年度茨城県政に関する提言・要望＞ ～地域経済社会の持続的発展に向けての提言・要望～

提言・要望項目

- 1 地域経済社会を支える中小企業の振興に向けて
 - (1) 中小企業の競争力強化と販路拡大等の支援
 - (2) 中小企業向け金融支援ならびに税制支援策の充実
 - (3) 次世代をリードする産業の育成と成長分野進出への支援
 - (4) 官公需における地元企業の受注機会拡大と入札制度の改善
 - (5) 地産地消・地産外消による県内経済の好循環化促進
- 2 地方創生対策による「まち・ひと・しごと」づくりに向けて
 - (1) 地方創生対策の推進
 - (2) 「まち」づくり・中心市街地の活性化と空き店舗対策
 - (3) 県北地域の活性化
 - (4) 若年世代の県外流出防止ならびに県内流入促進
 - (5) 女性の活躍を促進する環境整備
 - (6) 障がい者就労支援を含めた雇用対策の充実・強化
 - (7) 県民が安心して暮らせる医療・介護体制の整備
- 3 交通基盤の整備と地域活性化のための観光促進に向けて
 - (1) つくばエクスプレスの早期利便性拡充に向けて
～東京駅乗入れ・JR常磐線主要駅との連絡から茨城空港までの延伸～
 - (2) JR常磐線の東京・品川駅乗入れによる経済効果の拡大と地下鉄8号線の下館駅延伸実現に向けた継続的な取組み強化
 - (3) 茨城空港の利活用促進と高速道路網の早期整備の促進
 - (4) 茨城国体・東京五輪開催を見据えた観光誘客策の強化
- 4 地域社会の安全・安心確保と復興・発展を支える基盤づくりに向けて
 - (1) 産業基盤の早期復旧
 - (2) 原子力発電所事故の対策
 - (3) 電力・エネルギーの安定供給の確保
 - (4) 空き家対策の取組み強化
 - (5) 防災意識、減災意識醸成への取組み強化
- 5 迅速・効率的な行政サービスの提供とIT利活用促進に向けて
 - (1) 行政サービスの向上
 - (2) IT利活用促進による経済および地域社会の活性化

茨城産業会議

～平成28年度茨城大学・茨城県・茨城産業会議連携講演会を開催～

茨城産業会議（鬼澤邦夫議長：経営者協会が事務局）は、平成28年12月9日（金）、三の丸ホテル（水戸市）において平成28年度茨城大学・茨城県・茨城産業会議連携講演会を開催した（参加者130名）。連携講演会は毎年開催し、今回で10回目となる。

今年度は「全国の地方創生の現場から、茨城の未来へ」をテーマに、深谷信介氏（博報堂ブランドデザイン副代表）より地域活性化やブランディングの観点で、他県の取り組み事例を交え

ながら講演をしていただいた。その後、山本慎一郎氏（(一社)RCF）、光畑由佳氏（(有)モーハウス代表取締役）、東大史氏（(一社)村楽理事）、西野由希子氏（茨城大学人文学部教授）より各分野における事例報告のあと、参加者から寄せられた質問票をもとにパネル討論を行った。

参加者からは「地方創生はオール茨城で取り組まなくてはならない重要課題であり、幅広い観点で捉える必要があることを認識した」、

「茨城県の恵まれた地域資源や定住環境を活かし、人口流入促進に繋がることを期待したい」といった感想が寄せられるなど、充実した講演会となった。



政策委員会

第8次中期運営要綱、創立70周年記念事業について意見交換



12月15日（木）、つくば市・常陽つくばビル役員会議室において第3回政策委員会が開催された。

鬼澤邦夫会長（(株)常陽銀

行取締役会長）の挨拶の後、関正樹副会長（関彰商事（株）代表取締役社長）が議長となり議事を進めた。

会議では、沢畑専務理事より会務報告があった。次に平成29年度～31年度の3ヵ年の中期計画である“第8次中期運営要綱”、6月7日（水）に平成29年度定時総会に併設開催が予定されている“創立70周年記念式典”を

含む記念事業、平成28年度主要事業の進捗状況についての事務局説明後、意見交換が行われた。

そのなかでは、会員増強活動について、創立70周年にちなみ、平成29年度末までに、“プラス70会員紹介キャンペーン”を展開し、平成29年度末の会員数1,130社をめざす事が承認された。

続いて各支部長、各委員長より活動の状況、業界・会社の状況等が報告され、意見交換を行った。

経営教育委員会

本年度第3回目の委員会を開催、併設して山口茨城県副知事との懇談会も行う

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 代表取締役会長）は、12月13日（火）、経営者協会会議室において本年3回目となる委員会を開催。事務局含め20名の委員出席のもと、今年度これまで実施してきた事業の振り返りと、下期事業の進捗について確認された。

また委員会後には行政懇談会を併設し、茨城県副知事の山口やちゑ氏を講師にお招きし、「女性が輝く社会をめざして」と題してご講演頂いた。

山口氏は、“男女共同参画に関する国際的な指標（日本は188カ国中20位）”“ジェンダー・ギャップ指数（日本は144カ国

中111位）”の2つの指標を踏まえ、日本における女性活躍の現状について述べられ、「労働力確保の観点からも、更なる女性の社会進出は急務であり、そのためにも女性が働きやすい社会制度の整備が求められている。当県も企業の皆様はじめ、様々な立場の方々からのご

意見を賜りながら取り組んで参りたい」と語られた後、委員との意見交換も行われた。



労働企画委員会(委員長 家次晃氏 (株)日立製作所電力ビジネスユニット日立事業所副事業所長)は12月16日(金)水戸京成ホテルにて、労働法セミナーを開催した。

本セミナーは、当協会顧問弁護士をお務め頂いている大和田・谷田部法律事務所の大和田一雄弁護士を講師にお招きし、重要判例の解説と対応策、残業代を巡る法的諸問題、メンタルヘルスを抱えた社員を巡る法的諸問題等について、全3回シリーズで学ぶもの。

最終の第3回開催となった当日は、メンタルヘルスを抱えた社員を巡る法的諸問題につ

いて解説頂いた。講演の中では、「よく事務上判断に迷われる事案として、採用選考の面接の際、応募者に精神疾患の既往歴や治療歴を質問しても良いかという問題があります。これまでの裁判例を前提にしますと、①業務上の必要性があり、②応募者の同意(任意回答)のもとに行うことの要件を満たせば、面接時に精神疾患の既往歴等を質問することは許されると解釈されます。実務上は、採用選考時、会社があらかじめ用意した質問事項(精神疾患の内容等の既



往歴、治療歴等)を記載した書面(エントリーシート等)に記載して回答してもらうことが望ましい。留意点としては、必ず書面に『回答するか否かは任意である』旨を記載すること」と担当者が陥りがちな諸事例について解説をされた。



地域関係委員会(委員長 徳成卓也氏 東日本電信電話(株)茨城支店理事支店長)は、12月8日(木)、産業会館大会議室にて、コンプライアンスセミナーを開催。

3年連続の開催となる同セミナーは「コンプライアンス経

営の浸透に向けて～なぜ職業倫理の欠如は起こるのか～」を本年度のメインテーマとして進められ、講師には初回より指導頂いているシンプル・コンサルティング・グループ(株)代表取締役の秋山進氏より解説を頂

いた。23社31名の参加。多くの企業のコンプライアンス体制構築の指導をされている秋山氏は「企業がコンプライアンス活動を推進する真の目的は“社員と会社を守る”ことであることを忘れてはならない。これまで曖昧な判断&

運用されてきた判断基準やルールにおいても、今一度見直してみることをお勧めしたい。“知りながら害をなすな”をキーワードに、社内体制構築に取り組んで頂きたい」と語った。参加者アンケートでは「話を伺い、当社はコンプライアンスに対する認識が甘いように感じた。今回の研修を元に、社長・役員も含め社内で見直す機会ができればと思っている。特に情報公開は迅速に行う事は、コンプライアンスの問題だけでなく様々な事柄に繋がっていくのだと改めて実感しました」といった意見が寄せられた。

水戸地区支部

平成28年度第2回役員幹事会を開催



水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店 代表取締役会長)は、12月8日(木)水戸京成百貨店会議室において、平成28年度第2回役員幹事会(幹事長 栗島国夫氏 (株)ニコン水戸製作所長)を開催した。

はじめに、西村支部長が挨拶をし、その後、本年度の支部活

動経過報告ならびに、今後の支部活動計画(案)について協議検討をした。

支部活動経過報告では、前回役員幹事会以降に開催された6つの事業における実施概要や課題等に関する報告がなされた。

続いて、今後実施予定の「経営セミナー」「環境先

進企業視察会」について協議をし、経営セミナーについては、地方創生という観点から観光振興や地域の活性化に関するテーマを第1候補として選定した。また、環境先進企業視察会は環境委員会および環境研究会との共催事業として、今年度中の開催に向け進めていくことを確認した。

○経営セミナー

平成29年3月6日(月)

講師：竹内哲也氏

スマイルゲート(株)

代表取締役

「地域ブランドによる地域と企業の活性化」(仮題)

○環境先進企業視察会

平成29年2月～3月

視察先：日本製紙(株)

勿来工場、(株)クレハ環境

また、会員増強運動については、引き続き今年度目標数(1,060社)の早期達成に向け、水戸地区支部として積極的に取組んでいくことを確認した。当日は、懇親会を併設、参加者間の交流を深めた。次回第3回役員幹事会は3月に予定。

土浦・石岡・つくば地区支部

人事労務研究会総会・第2回例会を開催

土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 本井正氏 日立建機(株)執行役生産・調達本部長)の人事労務研究会(代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)代表取締役社長)は



12月6日(火)、ホテルグランド東雲(つくば市)において第2回例会を開催した。

本例会では、経営者、経営幹部が知っておくべき企業におけるメンタルヘルス対策をテーマに、医療法人社団有朋会栗田病院院長の安部秀三氏、(株)ディジット代表取締役の三浦才幸氏のお二方を講師にお招きし、ご講演を頂いた。

はじめに、栗田病院の安部秀三院長からは「産業メンタルヘルスとさまざまな精神疾患～その発生と予防・対策について



～」と題し、メンタルヘルス発生の背景や実情について解説頂いた。講演の中において、セルフケア(自己の気づきと見直し)、ラインケア(部署でのケア)の重要性を述べられた後、

「職場のメンタルヘルスを改善することは、リスクマネジメントなどマイナス面の予防のみならず、業務改善や活力・生産性の向上などプラスの影響が期待されます。ストレスチェック制度を利用し組織内相談

体制を見直すとともに、改めて普段のコミュニケーションが大切です」と締め括られた。

続いて、(株)ディジットの三浦氏からは「元気と利益が出るストレスチェック活用法」をテーマに、平成28年12月から義

務化されたストレスチェック制度をいかに生産性向上につなげるかについて解説頂いた。

次回第3回例会は1月19日に「採用力強化セミナー」を開催予定となっている。

県西地区支部

平成28年度県西地区支部総会を開催



県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、12月1日(木)、ダイヤモンドホールにおいて、平成28年度県西地区支部総会を開催、50名が参加した。

開会にあたり、佐藤支部長より「鬼澤会長を中心に会員増強に積極的に取り組んでいるなか、県西地区支部でも今年度すでに16社ご入会いただき、県西

地区支部の会員数も90社(12月1日現在)となった。そうしたなか、本日も多数新入会員の方々にご出席いただき、感謝申し上げます。県西地域は交通インフラの充実等、今後も発展が見込まれる。本日の支部総会がお集まりの皆さまの充実した交流に繋がることが願いたい」との挨拶がなされた。

続いて、経営者協会の重点取組や県西地区支部活動についての報告後、新入会員の紹介がなされ、総会を終了した。

講演会では、講師に今泉清氏(元ラグビー日本代表)をお招きし、ラグビー日本代表で得た豊富な経験をもとにした組織

活性化や人材育成法、昨年のラグビーW杯における日本代表の快進撃の裏側、エディジョーンズ氏(前ラグビー日本代表ヘッドコーチ)の指導法等について分かりやすくご講演いただいた。参加者からも「目的やビジョンを明確にし、常にプラスのイメージを持ち続けることが重要だと再認識できた」「若手の人材育成に悩んでいた。アスリートの世界でも指導方法が変わってきているなか、これまでの接し方を見直し、サポートしていく姿勢が重要と感じた」などの感想が寄せられた。

その後の交流パーティには、講師の今泉氏も最後まで参加いただき、懇親を深め散会した。

県西地区支部

平成28年度第2回役員幹事会を開催

県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、12月1日(木)筑西市のダイヤモンドホールにおいて、平成28年度第2回役員幹事会(幹事長 岡本俊一氏 関彰商事(株)常務執行役員人事部長)を開催した。

佐藤支部長の挨拶後、主に本年度の支部活動経過報告および同日開催する県西地区支部

総会の運営などに関する協議検討がなされた。

また、会員増強運動においても今年度すでに16社の新入会員を迎え、当面の目標である会員数1,060社の早期達成に向け、積極的に取り組んでいくとともに、会員企業の多様なニーズを捉え、会員相互の交流促進が図られ

る事業を展開していくことを確認し、閉会した。



『平成28年度会員増強運動』の状況

～お蔭様で年度目標達成 会員数 1,067 社！！～

会員の状況 (12月31日現在)

項目 \ 支部	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計	
27年度末会員数	40	103	94	283	162	69	75	53	102	981	
入会数	4	1	12	32	18	6	18	3	14	108	
退会数		3		3	5	5	1	3	2	22	
会員数	44	101	106	312	175	70	92	53	114	1,067	
										前年度比	+86

平成28年度目標 (第7次中期運営要綱目標)	1,060 (1,000)
---------------------------	------------------

目標比	+7
-----	----

『プラス70会員紹介キャンペーン』のお知らせ

今年7月、茨城県経営者協会は、創立70周年を迎えます。

皆様のおかげをもちまして当会の会員数は、上記の表のように順調に増加し年度目標を達成しました。誠にありがとうございます。

さて、当会が創立70周年を迎えるにあたり、会員や地域の皆様からさらに頼りにされるための礎を築くべく、皆様のご紹介により会員数純増70社を目指す会員紹介キャンペーン（平成28年12月15日～平成30年3月末日）がスタートしました。

「自社の経営を高めたい」、「地域に貢献したい」企業様のご紹介をお待ちしております。詳しくは茨城県経営者協会事務局（Tel.029-221-5301）までご連絡下さい。

新入会員紹介

藍税理士法人

■代表社員 横山 哲郎



所在地／水戸市柵町1-5-13
TEL 029-227-3916
FAX 029-221-4773
業種／税務
従業員／12名

顧客の発展を願って、幅広い経験を積んだ二人の税理士が、意見交換をしながら深絞りの税務サービス提案しています。
"気軽な相談相手"をモットーとしております。

株式会社三光精衡所伊奈支店

■代表取締役 小川 弘



Data 所在地／つくばみらい市戸崎1087
T E L 0297-20-7400
F A X 0297-57-1009
業 種／製造業（反射鏡製造、
蒸着作業など光学部品関連）
従業員／20名
（うち伊奈支店所属は11名）

Appeal point 弊社は昭和7年に計量器メーカーとして創業しました。その後ゴルフ関連商品や光学部品を製造するようになりました。

伊奈工場では主にガラス製の大型反射鏡を製造しています。日本最大級の直径を有する真空蒸着装置を所有しており、大型（対角が約4m）の反射鏡を製造することが可能です。

弊社は大量生産を行いません。小規模でも弊社独自の技術を生かし、社会貢献できる企業を目指しています。

セバック株式会社

■代表取締役社長 三品 聡



Data 所在地／神栖市東和田4番地
T E L 0299-97-3175
F A X 0299-96-3277
業 種／石油部門関連受託業、
商品販売、厚生施設管理
従業員／73名（常用従業員数）

Appeal point 弊社は、鹿島石油グループ従業員向福利厚生関係事業を担う会社として1968年に創業、現在は鹿島石油構内での業務受託を中心に、商品販売、厚生施設管理等を行っております。

ガソリンを始めとする石油製品の需要が年々減少していく中、上流では再編の動きが顕著ですが、状況に翻弄されることなく、地に足の着いた「人」の柔軟な発想と高水準の技術力で鹿島石油と地域の活性化に貢献して行きます。

大和ハウス工業株式会社 茨城支社

■支社長 成田 誠



Data 所在地／水戸市元吉田町1194-24
T E L 029-246-0111
F A X 029-246-0169
業 種／建設業
従業員／茨城支社177名、
全社15,267名

Appeal point 弊社は1955年に「建築の工業化」を基本理念に創業し、戸建住宅をコア事業に、賃貸住宅、分譲マンション、商業施設、一般建築など幅広い事業領域で活動しております。

これからも、創業以来培ってきたパイオニア精神のもと、“多くの方々に役に立ち、喜んでいただける商品開発やサービスの提供”を通じて、地域の発展に貢献してまいります。

有限会社ヘルスケアー下妻

■代表取締役 増田 貴之



Data 所在地／下妻市下妻戊34-1
T E L 0296-44-0110
F A X 0296-44-6637
業 種／福祉サービス業
従業員／30名

Appeal point 弊社は、介護保険制度導入後から高齢者福祉サービス事業所として市内に高齢者グループホームを運営させて頂いております。お客様に安心と信頼と満足をお届けすることを指針に掲げ、地域に密着した福祉サービスを展開し地域に貢献いたします。

2月の茶花…二月（きさらぎ）……椿 黄梅 庭梅 寒ぼけ こぶし れんぎょう 寒紅梅等

2月の話材…如月…2月。「如月」の由来は、寒さがまだ残る時期であり「衣を更に重ね着する月」、「衣更月」が転じたという説、季節が陽気になる時期なので「気更来」が転じたという説など諸説がある。

話材1. 衣更着のおしゃれ

2月の日数は、28日あるいは29日である。これは、8月を30日から31日にするために2月から差し引いたためだそう。中国の二月の異称を用いて旧暦2月を如月（きさらぎ）と称したことから新暦2月も「如月」さらには「きさらぎ」という。「きさらぎ」は、絹更月、衣更月と綴るが、寒さが残っている時季でもあるので、衣（きぬ）を更に着る月の意から「衣更着（きさらぎ）」という表現もある。

重ね着は着脹れになりがちである。着脹れとは身体がふくれたさまのことであるから見てくれがよくない。みなりや化粧を気のきいたものにしよとつとめることをおしゃれという。男のおしゃれと女のおしゃれでほとんど知られていない事実がある。8月15日は敗戦記念日である。敗戦記念日は、憲法の掟どおり恒久平和を誓う日である。8月15日は、隣国、韓国では解放の日である。抑圧から解放された日であるから、民族のアイデンティティとして、例えば民族衣装の着用を復活させて日でもある。ところが、どうか。女性の正装は洋装と和装の2種類が認められているが、男性の正装は燕尾服、タキシード、フロックコート、モーニング等の洋服であり、和服は正装とされていない。民族のおしゃれからすると和服が正装にならないうちは日本民族の戦後は終わっていない。

話材2. 和は遠い時代になりけり

紳士淑女こそって西洋流の身だしなみが板についてきた国、日本ではあるが、着脹れが過ぎている。衣食住いずも和風が幅をきかすご時世は既に過去のものになりつつある。今や、和は遠い時代か習い事の世界にしかないようにも思える。洋服の着付けは男女左右が異なるが、和服の着付けは男女とも右前である。食はフォーク、ナイフ、スプーン等銀器が大手を振っているせいか箸使いがまるでできない者が多い。和食は、茶碗を左手に持ち、右手で箸をあしらう両手を活用した食文化である。ところが、左肘を食卓に置いて頬杖をして、右手の箸はスプーンを持つように握って食べる人物がなんと多いことか。麺類を吸うこともできない者も増えつつある。和室はめつきり少なくなり、畳文化は消えつつある。正座ができないばかりか胡坐さえかけない。

明治時代初期に文部大臣森有礼が禁止令を出して以降、学校教育において民楽は禁止されてきた。琴、三味線、太鼓、篠笛など民衆の音楽である民楽は初等中等教育から排除されてきた。それゆえに大概の日本人は和の音を教育されていない。多くの識者の嘆願によって、平成になってから学校教育に民楽を教えることが許可されたが、洋楽同様にスコア（五線譜）によって民楽を教える教師ばかりである。日本の音はスコアには乗らない心の囁や叫びがあるし、喜怒哀楽そして花鳥風月の趣を写している。

話材3. きさらぎに和の心あり

二八という言葉がある。「にはち」か「につばち」と読む。「にはち」は、2と8を掛けて16になるので、16歳を表す。「につばち」は、2月と8月をいい、商取引の振るわない時期とされてきた。商取引が振るわないなら組織固めの時季にしたいものだ。固める対象は既顧客である。手厚く礼遇することを持て成しという。持て成しとは、意思や気持ちなどを主意として持て成す歓待、礼遇、厚遇である。心を通わすさりげなくも温かいあしらいは和文化の中に多くある。きさらぎは和の心をもって持て成したい。茶道、能楽、歌舞伎、浄瑠璃、寺院拝観、持て成す場所はいくらでもある。

2月の動機づけスピーチ

1. 持て成し

2020年に向かって、今や、「お持て成し」はキーワードである。持て成しには4つほどの意味がある。①とりなし ②ふるまい③取扱い④馳走である。

- ①取り成し、取り繕い、嗜み
- ②振る舞い、挙動、態度
- ③取扱い、あしらい、待遇
- ④馳走、饗応

このうち、①の意味あいから「お持て成し」となっているが、お客様を親切にもてなすことあるいはもてなす気

持ちは英語にもある。hospitality（ホスピタリティ）である。

2. ホスピタリティの意義

ホスピタリティは、人を人として尊重し、思いやることであるし、人的、環境的、空間的に示す歓迎の表現・態度でもある。ホスピタリティの本質は、「相互性を帯びた関係の中で、他者を受け入れる」ことにある。とすると、ホスピタリティをマネジメントすることは、つまり、ホスピタリティ・マネジメントはすべての企業において必須のことである。

3. ホスピタリティ・マネジメントとは

ホスピタリティ・マネジメントにとってもっとも大切なことは相手がOKサインを出す要素を知ることである。ホスピタリティ・インダストリーという用語がある。お持て成し産業と訳してもよいが、病院とホテルが2大業種である。クライアント（顧客）が支持する凡そ80%は、信頼性、確実性、有形部分、共感及び対応力の5つの要因に起因する（米国 レオナルド J. ベリー等の研究）。

信頼性：約束されたものを確実に提供できる能力

確実性：知識や丁寧さ、信頼や自信を伝える力

有形部分：物理的な設備や機器類や人の外見

共感：クライアントに対して向けられる気配りや個人的な注意の程度

対応力：クライアントを助け、迅速なサービスを提供とする意志

そこで、取り組む課題は、2つある。1つは、Welcomeの実践つまり安心できる、心地よさを感じる対応および環境づくりである。2つは、信頼される、堅実さを感じさせる関わり、つまりクライアントが満足・納得・安心する会話である。

4. ホスピタリティ・マネジメントの管理領域

ホスピタリティ・マネジメントの管理領域は、人的ホスピタリティ、環境的ホスピタリティ及び組織管理的ホスピタリティの3つである。

①人的ホスピタリティ

マインドや行動を管理する領域である。

非言語コミュニケーション…表情・アイコンタクト・態度・仕草・身だしなみ・ドレスコード

言語コミュニケーション…口調・音量・テンポ・スピード・言葉遣い・説明会話雑談の適切さ・わかりやすい表現・確実な情報交換・傾聴力・質問力

気づき…気配り・目配り・手配り・クライアントの状態の把握・反応の察知

関係構築…挨拶や声かけ・アプローチのしかた・信頼関係づくり・距離感・オープンさ

思いやり…共感する・相手の立場で考える・臨機応変さ・誠意・サポート・自尊心の尊重、意向の把握・プラス

αの言葉や行動・利他のところ

確実さ…約束を守る・正確な遂行・正確な情報提供・確認・正直さ

②環境的ホスピタリティ

空間、時間及び機能を管理する領域である。

クレンネス…施設内外の清掃・整理整頓・美化・設備、什器備品、掲示物の損傷劣化度

感覚的快適さ…照明・室温・湿度・日差し、遮光・臭い、換気・音・触覚的快適さ

動線/レイアウト…移動距離・対応者との距離・他のクライアントとの距離・配置・無駄や負担のない動線・プライバシーが保てる環境・死角がないこと

効率…待ち時間・即応さ・混雑時のハンドリング・手助けが必要なクライアントへの支援・処理時間・無駄のない対応・正確な対応

心理的心地よさ…不安がない・迷わない・困らない・特別感・ウェルカム・安心

ディスプレイ…掲示物・案内表示・展示物・什器備品・パンフレット、PCツールの見やすさ

サービス物品…茶菓・新聞雑誌・筆記台・文具・サポート物品

③組織管理的ホスピタリティ

戦略、仕組み及び管理ホスピタリティ・マネジメントの方式を管理する領域である。

組織文化…理念価値観の共有・理念に基づく行動・率先躬行

組織経営管理…ホスピタリティ品質の維持向上・課題解決・部署内外との連携・サポート体制・機能管理・メンテナンス・評価

県内の知見にヒントあり

八溝森林の基礎づくりをした人物は旅澤藤次衛門である。明和年間、旅澤藤次衛門は静岡県の秋葉神社と蓬萊寺に詣でた。境内から大森林を眺めて思うことがあったのだろう。郷里上野宮に帰り大植林を開始した。密殖法を廃止し、遠州法を実施して植林を行った。植林の功績に対して徳川烈公から感状を賜っている。

八溝山は、標高1022メートル、県内最高峰を誇る。茨城県が誇る八溝山は、ブナやナラの大木が生い茂る自然林そのものである。八合目辺りに環境庁の「名水100選」の一つに選定されている八溝川湧水群がある。金性水、龍毛水、白毛水、鉄水、銀性水の五水は、水戸藩二代藩主水戸光圀公が命名したとされているが、山頂には八溝嶺神社、中腹には坂東33観音霊場の第21番札所の日輪寺があり、古くから信仰の山としても知られている。

次の災害に備えるために

茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田 能洋

やや大きな地震が相次ぐ中で、年明けとなりました。常総市、熊木、北海道や岩手、島根と地震や水害、そして先般は大火事による災害が続いています。私も熊本や岩手に出向く中で、災害時に全国規模で移動し2ヶ月以上被災地で継続的な支援活動を行う民間の団体というのは20~30くらいしかないことがわかってきました。それらの団体の多くは複数の被災地を掛け持ちしていて、この状況で南海トラフや首都直下が起きたらどうするかという話をよくしています。それくらいリスクが高まっている状況です。そんな中で何ができるかですが、よく言われる割にできていないのが、家の中の備え（避難時持ち出し袋の用意、避難先と手段の確保、家の耐震補強など）と、最初の段階で命を守るため近所での自主防災の体制を作ることです。茨城は災害が少ないとされてきたためか、他県に比べ地区単位の防災計画や自主防災組織作り、物資の備蓄などが遅れており対応を急ぐ必要がありま

す。BCP（事業継続計画）だけでなく、従業員の家庭における備えや、会社の周辺地域の防災力をも高めていく必要があると思います。

阪神淡路大震災以降、大きな災害の度に災害関連の制度が徐々に整備されてきたとはいえ、多くの被災地で同じことが繰り返されています。「避難の遅れで犠牲が増えた」「避難所の食事でおにぎり1個が一月も続いた」「仮設住宅からバラバラに住宅へ移る中で孤独化の問題が起こる」といった話です。商工業者が廃業に追い込まれやすいといった問題は制度的な要因が大きいですが、発災直後の避難誘導や避難所の食事や生活環境、災害ゴミなどは、事前に備えと訓練をしておくことで、改善できます。防災は、すべての人、組織が当事者であり、参加や協力がしやすいテーマです。企業にとっては事業の存続に関わるものであり、同時に、土地や施設、人材、ものづくり、ネットワークなど自らが持つ資源を生かせる分野でもあります。法令に従う

とか要請を待つだけでなく、リスクを想定して自主的に取り組むことが地域との絆、持続可能性につながります。

コモンズは常総での被災経験を生かし、避難所になりうる施設や職場に備蓄が望まれる資機材や、被災者向けの多言語での情報伝達のツールを企業の皆さんと共同開発したり地域での防災教育に取り組みたいと企画中です。

また行政、民間福祉団体、NPO、企業などの関係者が顔の見える関係を作っておくことは災害時に本当に役立ちます。

1月25日、県、経営者協会、連合茨城、NPOなどの共催による「共助社会づくりフォーラム2017~共助の力で災害に対応しよう~」が開催されます。防災に関する官民連携、自主防災組織作りの実践報告、避難所運営ゲームの体験など盛りだくさんの内容です。関心のある方は経営者協会のホームページをご参照の上、ご参加ください。



「ともに、いきる」を実現する大学
茨城キリスト教大学

文学部

- 文化交流学科
- 現代英語学科
- 児童教育学科児童教育専攻
- 児童教育学科幼児保育専攻

生活科学部

- 心理福祉学科
- 食物健康科学科

看護学部

- 看護学科
- 経営学部
- 経営学科



携帯から簡単にアクセス▲

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 JR常磐線大塚(おおみか)駅隣接
<http://www.icc.ac.jp/>  <http://www.icc.ac.jp/m/>

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

C-HR



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
 TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



ちょっと
ヨリミチ

きょうも誰かと出会えるから
 きょうも楽しいイベントがあるから
 きょうも新しい発見があるから



いつでもそばにある
カスミです

株式会社カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋 599-1 TEL.029-850-1850
<http://www.kasumi.co.jp/>

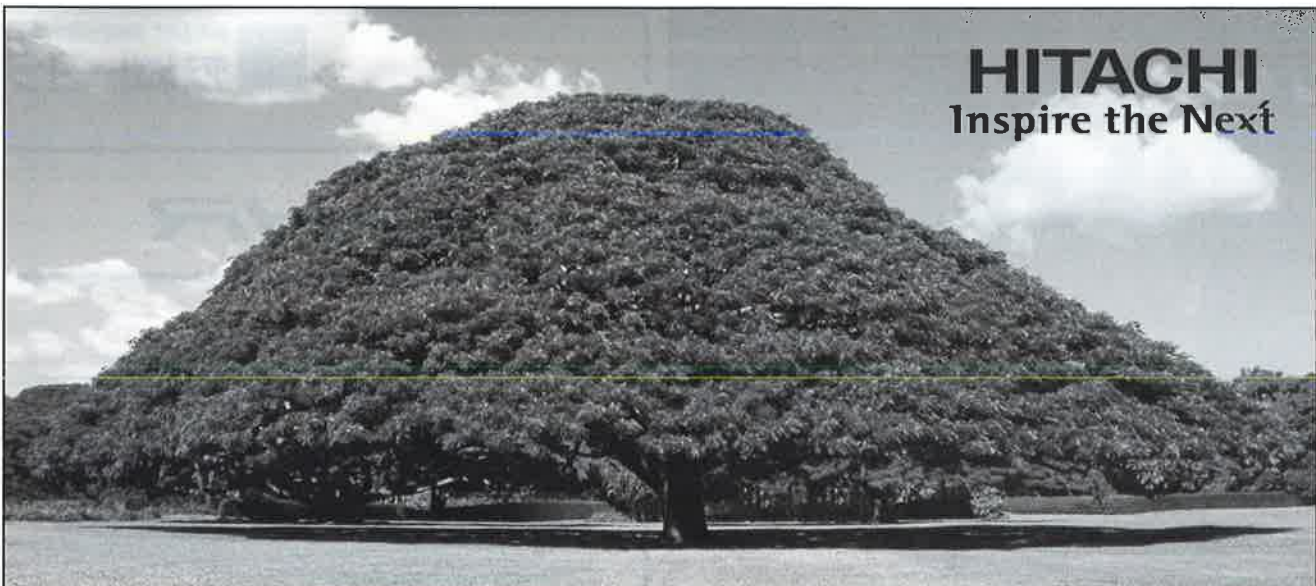
KASUMI



カスミ公式フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社 日立工機株式会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

21



いっしよに
未来を
創ります。

ひとの数だけ、

笑顔があります。

悩みがあります。

夢があります。

このまちのみなさまと、

共に笑い、共に悩み、

共に夢をかなえる

存在でありたい。

ベストパートナーバンク

常陽銀行



常陽銀行

[電話サービス]

ひかり電話 オフィスA_{エース}



通話コスト削減※で、 オフィスの課題をまとめて解決!



※通話時間が短い場合や、割引サービスの加入状況などによっては、お得にならない場合があります。

◎本サービスのご利用には、「フレッツ 光ネクスト」(インターネット接続サービス)または「ビジネスイーサワイド」のご契約が必要です(契約料、工事費、月額利用料がかかります)。◎本サービスのご利用には、月額利用料が必要です。◎本サービスのご利用には、本サービスに対応したアダプターもしくは通信機器が必要です。

本社一支店間(複数)での
音声通話料が
何人が何回かけても、
何時間でも、
NTT東日本エリアなら、

0円
※1 ※2

加入電話への
音声通話料が、
県内通話/3分

6円
※3 (税抜)
プラン1の
場合

※1 拠点間無料通話のご利用には、事前にグループ登録のお申し込みが必要です。グループ登録が可能な回線は、NTT東日本営業エリア内の同一契約者名義に限ります。なお、グループに「ひかり電話オフィスタ입」[「ひかり電話(基本プランのみ)」(いずれも電話サービス)を含める場合は、別途、グループ通話定額(有料)の契約が必要です。詳しくは営業担当者までお問い合わせください。 ※2 本サービスを同一契約者名義でご利用いただいている事業所間の音声通話料(NTT東日本の営業エリア内)が無料となります。

※3 加入電話、INSネット、「ひかり電話」(電話サービス)への通話料は県内通話が3分6円(税抜)、県間通話が3分10円(税抜)となります。他プランの場合は通話料が異なります。携帯電話への通話料、「テレビ電話」の通話料、「データコネクト」の通信料などについては料金が異なります。◎「県内」「県間」の区分は、一般の行政区分と異なる場合があります。

コスト削減無料診断、実施中! 詳細は公式ホームページをチェック!

オプションサービス グループダイヤリング機能

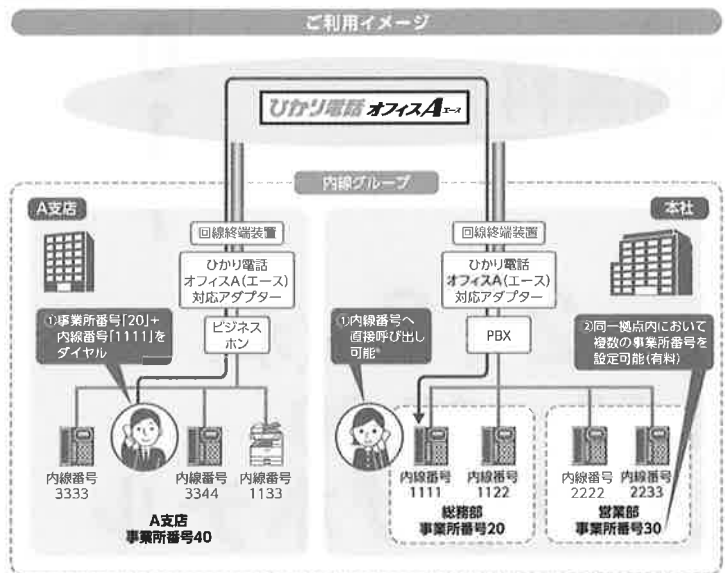
- 「事業所番号+内線番号」の簡易なダイヤル操作で、グループ内通信を可能とするサービスです。グループダイヤリング機能を利用することで、別の事業所の内線番号に直接電話することができます。また、NTT東日本エリアならグループダイヤリング機能での拠点間音声通話料が無料(0円)です。
- NGNひかり電話網利用のため、音声に限定されず、データや映像通信でも内線通信が可能。事業所間でのデータ・映像通信がより簡単・便利に行えるようになります。*

*着信側が、「ひかり電話ビジネスタイプ」の専用番号帯から継続使用している番号の場合で、NTT東日本とNTT西日本間で「テレビ電話」「高音質電話」「データコネクト」を利用する場合は、一部制限があります。詳しくは営業担当者へお問い合わせ下さい。「ひかり電話ビジネスタイプ」専用番号帯については以下のURLにてご確認ください。

NTT東日本エリアの番号:
<http://www.ntt-west.co.jp/tariff/html/wb11s008.html>
NTT西日本エリアの番号:
<http://www.ntt-east.co.jp/tariff/appendix/eb13s008.html>

利用上の
注意事項

- ①「0」および「1」で始まる事業所番号、「0」で始まる内線番号は利用できません。
- ②事業所番号と内線番号の組み合わせは以下のとおりです。
事業所番号(2~4桁)+内線番号(0~6桁)
◎同一の内線グループ内で、事業所番号か内線番号のどちらかの桁数を固定とします。
- ③グループダイヤリング機能のご利用には、グループ登録が必要です。また、グループダイヤリング対応機器が必要です。PBX/ビジネスホンなどの設定が必要となります(有料)。



- ①「事業所番号+内線番号」をダイヤルするだけで、他拠点の内線番号へ直接呼び出し可能*。(A支店の内線番号「3344」の端末から本社総務部の内線番号「1111」へ直接呼び出す場合、「20 1111」とダイヤリング)
*PBX/ビジネスホンの設定によっては直接呼び出しできない場合もあります。
- ②部署単位で事業所番号を分けたい場合、複数の事業所番号の設定も可能。(有料)

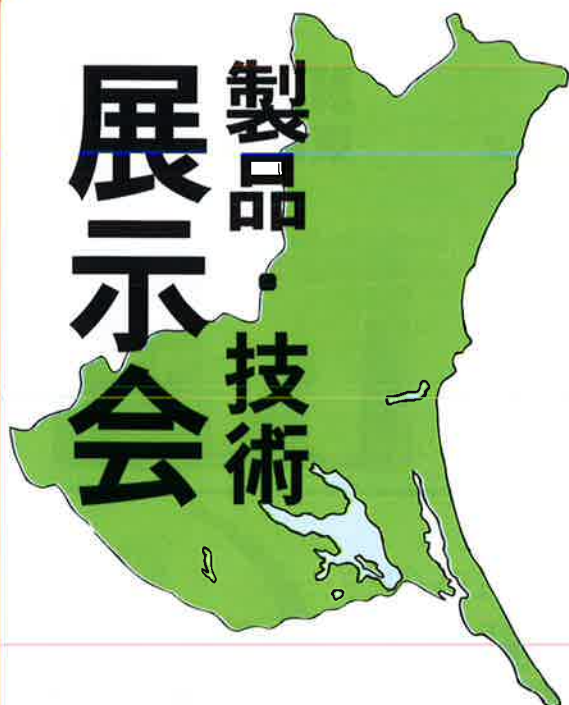
◎本サービスの詳細はNTT東日本の「ひかり電話オフィスA(エース)」の公式ホームページ(https://www.ntt-east.co.jp/hikari_ofa/)をご確認ください。

ひかり電話オフィスA 検索

K16-0307【1605-1705】

県内5金融機関との連携による

茨城ものづくり企業交流会 2017



ものづくり中小企
業約『100社』
が展示

入場無料

平成29年 2月2日(木)

11:00~16:00

水戸プラザホテル

2階「ボールルーム」

(水戸市千波町2078-1)

[共催]茨城県信用組合、常陽銀行、
筑波銀行、水戸信用金庫、結城信用金庫

(社名50音順)